

人、音楽、自然——日本フィルのテーマです。



JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

SUBSCRIPTION CONCERTS

2023

9

SEP

第 753 回
東京定期演奏会

W.A. MOZART

J.S. BACH

YAMADA
Kazuki

W. WALTON



サントリーホール
2023年9月1日(金) 19:00
9月2日(土) 14:00

日本フィルハーモニー交響楽団

2023-24年シーズン開幕で挨拶

2023-2024シーズンの開幕でございます。

コロナ後の新しい世界を迎えようとしている、このシーズン。なんといっても注目は新首席指揮者に就任したカーチュン・ウォンがどのような音楽づくりをするかです。アレクサンドル・ラザレフ、ピエタリ・インキネンのもと培ってきた日本フィルの音楽的基盤にどのような化学変化を起すのか、興味が膨みます。

カーチュン×日本フィルのひとつ目の柱となるのはマーラーです。2016年グスタフ・マーラー国際指揮者コンクールで優勝し、彼の人生を大きく変えたという第3番を10月の首席指揮者就任披露演奏会に。そして2024年5月には、マーラー最晩年の傑作であり、難曲といわれる第9番の深淵な世界に挑みます。ふたつ目の柱はアジアの音楽です。1月はインドネシアの「ガムラン」からインスピレーションを得た東南アジア、そしてフランスの音楽を、カーチュン特有の切れ味のいいリズムでお楽しみいただけるに違いありません。

また12月にもアレクサンドル・ラザレフに替わりカーチュンが登場します。先陣たちへの想いをこめたプログラム。故外山雄三さんを悼み「交響詩《まつら》」「伊福部昭：オーケストラとマリンバのための《ラウダ・コンチェルタータ》」「ショスタコーヴィチ：交響曲第5番」をお届けします。首席指揮者としての覚悟を感じられる演奏会にご期待ください。

シーズンスタートはバーミンガム市響の首席指揮者兼アーティスティックアドバイザーに就任し大活躍している山田和樹によるウォルトン第2弾です。10年間正指揮者を務めた信頼は変わらず、これからも定期演奏会に登場いただきます。併せて日本フィルと深い絆で結ばれている桂冠名誉指揮者小林研一郎、フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)広上淳一に加え、下野竜也、アレクサンダー・リープライヒも登場する心踊るシーズンとなること疑いありません。存分にお楽しみください。

知れば知るほど面白い奥深いクラシック音楽の世界を「生演奏」でご堪能いただくと共にYouTubeチャンネル「5分でわかる大人のためのオーケストラ入門」、「メンバーズTVUチャンネルによるライブ・アーカイブ配信」、毎週水曜日午後10時53分からのBS朝日「Welcomeクラシック」もトライし、楽しみを倍加させてみてはいかがでしょうか。「温かさ」と「人に寄り添う」を楽団の特徴としている日本フィル。これからも皆様と演奏を通して、また音を通して「心の交流」を心掛けてまいります。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

日本フィルハーモニー交響楽団
理事長 平井俊邦

目次 CONTENTS



©KY_approved

❖ プログラム	4
❖ 出演者プロフィール	6
❖ プログラム・ノート- 等松 春夫 -	7
❖ 写真プレイバック- 2023年6、7月 -	10
❖ 第九特別演奏会2023	16
❖ あらゆる人々へ、あらゆる世代へ、あらゆる地域へ、世界へ	12
❖ 2023年秋季セット券	13
❖ 感動の共有 ～ご支援のお願い～	19
❖ 日本フィルハーモニー交響楽団 特別会員ご芳名	20
❖ パトロネージュご芳名	24
❖ Member's TVU CHANNEL 配信一覧	26
❖ 新入団員紹介	27
❖ 次回東京定期演奏会 指揮者にインタビュー カーチュン・ウォン編	28
❖ インフォメーション	30
❖ 公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団 名簿	31

JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA 753rd SUBSCRIPTION CONCERTS

日本フィルハーモニー交響楽団
第753回 東京定期演奏会

サントリーホール Suntory Hall

2023年 9月1日(金)午後7時開演 / 2日(土)午後2時開演
7:00p.m., Friday, 1st & 2:00p.m., Saturday, 2nd September, 2023

主催 / 公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団
協賛 / 鹿島建設株式会社 三井不動産株式会社

表紙イラスト / 小澤 一雄

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術等総合支援事業(創造団体支援))
独立行政法人日本芸術文化振興会



感染予防のご案内

詳しくはこちらを
ご覧ください▼



演奏中のマナーにご協力をお願いいたします。

■ 演奏会をお楽しみ いただくために

演奏中はお手持ちの時計のアラーム、または携帯電話などの電源はお切りください。また手荷物、傘、チラシ類などの物音、話し声などで他のお客様のご迷惑にならないようご配慮をお願い申し上げます。尚、録音、録画、演奏中の写真撮影は固くお断りしております。

■ 電源OFF

アラームOFF 電源OFF



■ 声と拍手にご注意を

私語 せき



■ 周囲にご配慮を

身を乗り
出さない つばの広い/
高さのある帽子



■ 音にご注意を

ビニール袋 胎の袋 マジックテープや
ファスナーの音 鈴などアクセサリ
がついたストラップ 補聴器の音



■ 撮影禁止

録音禁止 録画禁止 演奏中の
写真撮影禁止



モーツァルト: セレナード第13番

《アイネ・クライネ・ナハトムジーク》K.525

約16分

Wolfgang Amadeus MOZART: Eine kleine Nachtmusik in G-major, K.525

J.S. バッハ(齋藤秀雄編曲): シャコンヌ

約17分

Johann Sebastian BACH (Arr. By SAITO Hideo): Chaconne

休憩 (15分) Intermission

ウォルトン: 戴冠式行進曲《宝玉と勺杖》

約7分

William WALTON: Coronation march "Orb and Sceptre"

ウォルトン: 交響曲第2番

約28分

William WALTON: Symphony No.2

指揮: 山田 和樹

Conductor: YAMADA Kazuki



コンサートマスター: 扇谷 泰朋[日本フィル・ソロ・コンサートマスター]

Concertmaster: OGITANI Yasutomo, JPO Solo Concertmaster

ソロ・チェロ: 門脇 大樹[日本フィル・ソロ・チェロ]

Solo Violoncello: KADOWAKI Hiroki, JPO Solo Violoncello

*この演奏会では、目の不自由なお客様のために点字プログラムを用意しております。ご要望の方は主催者までお申し出ください。



Conductor

指揮

山田 和樹

YAMADA Kazuki



©Zuzanna Special

2009年第51回ブザンソン国際指揮者コンクールで優勝。ほどなくBBC交響楽団を指揮してヨーロッパ・デビュー。同年、ミシェル・プラッソンの代役でパリ管弦楽団を指揮して以来、破竹の勢いで活躍の場を広げている。2012年～2018年スイス・ロマンド管弦楽団の首席客演指揮者、2016/17シーズンからモンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団芸術監督兼音楽監督、2023年4月からバーミンガム市交響楽団の首席指揮者兼アーティスティックアドバイザーに就任。日本では、2022年8月まで日本フィルハーモニー交響楽団の正指揮者を務め、現在では読売日本交響楽団首席客演指揮者、東京混声合唱団音楽監督兼理事長、学生時代に創設した横浜シンフォニエッタの音楽監督としても活動している。

東京藝術大学指揮科で松尾葉子・小林研一郎の両氏に師事。出光音楽賞、渡邊暁雄音楽基金音楽賞、齋藤秀雄メモリアル基金賞、実行委員会代表を務めた『柴田南雄生誕100年・没後20年 記念演奏会』が平成28年(2016年)度文化庁芸術祭大賞、日本フィルハーモニー交響楽

団と3年に亘り行った『山田和樹 マーラー・ツィクルス』が第67回(2017年)芸術選奨文部科学大臣新人賞など受賞多数。2022年には、モナコ公国からシュバリエ文化功労勲章を受章。キングレコード、オクタヴィア・レコード、PENTATONE、EXTON、日本コロムビア(DENON)などから多くのCDを発表している。著述に『「超」音楽対談 オーケストラに未来はあるか』(対談・アルテスパブリッシング刊)、『「自由」の危機 一息苦しさの正体』(論考集・集英社新書)などがある。本質に迫るとともにファンタジーあふれる音楽づくり、演奏家たちと一体になって奏でるサウンドは、音楽の喜びと真髄を客席と共有し熱狂の渦に巻き込む。名実ともに日本を代表する人気マエストロである。はだのふるさと大使。ベルリン在住。

公式twitter @yamakazu_takt

プログラム・ノート 解説:等松 春夫

いまや名実ともに日本を代表する指揮者の一人となった山田和樹。この4月に英国のバーミンガム市交響楽団の首席指揮者に就任し、6月の日本ツアーを成功裡に終わらせた。モーツァルトは山田氏が音楽監督を務めるモンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団とコロナ明けに初めて演奏した、クラシック音楽の代名詞のような佳曲。齋藤秀雄編曲のバッハは日本人と西洋音楽の邂逅を象徴する作品。そしてウォルトンは氏の新しいホームグラウンドである英国が生んだ作曲家。山田氏が持つ多彩な引出しを楽しめる演奏会である。

■ モーツァルト:セレナード第13番《アイネ・クライネ・ナハトムジーク》K.525

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト(1756-1791)の名刺代わりの一曲。1787年に作曲された歌劇「ドン・ジョヴァンニ」と同時期の作品で、暗い情念が支配する歌劇とは対照的に、明朗な楽想に溢れている。弦楽四重奏にコントラバスを加えた編成のために書かれたが、現在では弦楽オーケストラにより演奏されることが多い。

- 第1楽章 アレグロ、ト長調
- 第2楽章 ロマンツェ:アンダンテ、ハ長調
- 第3楽章 メヌエットとトリオ:アレグレット、ト長調(トリオは二長調)
- 第4楽章 ロンド:アレグロ、ト長調

楽器編成:弦楽5部

■ J.S.バッハ(齋藤秀雄編曲):シャコンヌ

ヨハン・セバスティアン・バッハ(1685-1750)の《無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ第2番 二短調BWV1004》の終楽章〈シャコンヌ〉を、齋藤秀雄(1902-74)が学生オーケストラの教育用に編曲したもの。齋藤はチェリスト・指揮者・音楽教育者で指揮法の「齋藤メソッド」の考案者。子供のための音楽教室(後に桐朋学園大学へ発展)の創立メンバーで、小澤征爾、秋山和慶、山本直純、飯守泰次郎らを育てた。バッハの〈シャコンヌ〉を名ピアニスト、フェルッチョ・ブゾーニ(1866-1924)が独奏ピアノ用に編曲しており、齋藤の編曲はこの版を基本にした。標準的な2管編成を用いて近代オーケストラの持つ多彩な表現の発揮に成功している。1951年12月11日に日比谷公会堂で齋藤自身が東京交響楽団を指

揮した記録がある。

シャコンヌとは、繰り返される低音主題に基づく変奏曲形式の舞曲。バッハの〈シャコンヌ〉は4分の3拍子。8小節の荘重な主題に31の変奏が続く(4小節の主題に63の変奏が続く、との解釈も可能)。齋藤はブゾーニ版を参照しつつも、原曲を忠実に編曲しており、主題および第1変奏～第16変奏前半が二短調、第16変奏後半～第25変奏が二長調、第26変奏～第31変奏が二短調、という構造は原曲と同じ。弦楽合奏を中心に管楽器とティンパニが効果的に使われ、クライマックスでは主題をコラル風に掲げて壮大な響きを築く。

楽器編成:ピッコロ1、フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、トロンボーン2、バス・トロンボーン1、テューバ1、ティンパニ、弦楽5部。

■ ウォルトン:戴冠行進曲《宝玉と勺杖》

ベンジャミン・ブリテン(1913-76)と並んで、20世紀中葉の英国を代表する作曲家ウィリアム・ウォルトン(1902-83)。イングランド中部オールダムの中流家庭に生まれ、オックスフォード大学クライスト・チャーチ・カレッジ附属聖堂の少年合唱団に入った。同大学に進学するが、学業になじめず中退する。その後、音楽大学に転じることもなく、大学在学中に知遇を得た富豪シットウェル家の援助を受けながら、独学で作曲技法を身に付けた。前衛詩に音楽を付けた洒落な《ファサード》、パウル・ヒンデミット(1895-1963)の独奏で初演されたヴィオラ協奏曲、斬新な技法を駆使したオラトリオ《ベルシャザールの饗宴》、雄渾な楽想と堅固な構成の交響曲第1番で名声を博する。1937年には国王ジョージ6世(在位1936-52)の戴冠式のために行進曲《宝冠》を書き、王室にも認められた。

1953年6月2日、そのジョージ6世の長女エリザベス2世(在位1952-2022)の戴冠式がロンドンで挙行された。ウォルトンが祝賀の一環に書いたのが、《宝玉と

勺杖》である。宝玉とは王冠に嵌められた宝石、勺杖とは王の権威を示す杖であり、ウィリアム・シェイクスピア(1564-1616)の史劇『ヘンリー5世』の中でも言及されている。初演は戴冠式のために特別に編成された管弦楽団をエイドリアン・ボールト(1889-1983)が指揮して、ウェストミンスター寺院における戴冠式の式典で行われた。曲はエリザベス2世に献呈されている。

曲は短い華やかなトランペットのファンファーレで始まり、シンコーションが多用されたホ長調の軽やかな行進曲が続く。トリオはエルガーの《威風堂々》第1番や第4番の流れを感じさせる典雅な旋律で、弦楽合奏中心に始まり、徐々に他の楽器が加わっていく。ファンファーレに続いて行進曲が繰り返され、種々の打楽器が打ち鳴らされる中、トゥッティで華々しく終わる。

楽器編成: ピッコロ1、フルート2、オーボエ2、イングリッシュ・ホルン1、クラリネット3、ファゴット2、コントラ・ファゴット1、ホルン4、トランペット3、トロンボーン2、バス・トロンボーン1、テューバ1、ティンパニ、シンバル小太鼓、タンバリン、ハープ、弦楽5部。

■ ウォルトン:交響曲第2番

第2次世界大戦後、ウォルトンはアルゼンチンで知り合って結婚したスザンナ夫人と、イタリア・ナポリの沖合にあるイスキア島に移住する。ウォルトン後半生の作品の多くが、この風光明媚な地中海の島の寓居から生まれた。

1950年代半ば、ウォルトンに作曲の委嘱が2つ届く。1つはハンガリー出身の名指揮者ジョージ・セル(1897-1970)が音

楽監督を務める米国のクリーヴランド管弦楽団の創立40周年(1958年)の記念作品。もう1つは市制750年を(1957年)を迎える英国・リヴァプール市のフィルハーモニー協会からの祝賀作品であった。

前者の作曲は順調に進んで《管弦楽のためのパルティータ》という傑作となり、セル指揮クリーヴランド管弦楽団によって1958年1月に初演された。しかし後者

の作曲は難航する。結局、3楽章から成る比較的短い交響曲第2番が完成したのは1960年で、リヴァプール市制750年を3年も超過していた。委嘱者である協会は初演をロイヤル・リヴァプール・フィルハーモニー管弦楽団に行わせるという条件で、大幅な遅れを容認した。こうして初演はジョン・プリッチャード(1921-89)指揮の同管弦楽団によって1960年9月2日にエディンバラ音楽祭で行われた。

ノーノ、クセナキス、シュトックハウゼン、ペンデレツキらの前衛音楽が全盛の当時、調性に基づくウォルトンの作風は批評家たちに時代錯誤と受け取られた。また、初演直後から「技巧に走りすぎ楽想が貧弱」と評される。そのためか、作曲者の指揮でレコードを制作する計画は立ち消えになってしまった。しかし《管弦楽のためのパルティータ》を初演したセルは交響曲第2番を高く評価し、同曲の米国初演(1961年1月)と初録音をクリーヴランド管弦楽団と行っている。3管編成にハープ、ピアノ、チェレスタと多彩な打楽器群が加わり、管弦楽法は一段と洗練され、ドビュッシーやラヴェルを想起させるところもある。長く交響曲第1番の人気の陰に隠れていたが、近年再評価が進み、演奏頻度も上がりつつある。

第1楽章 アレグロ・モルト

2つの主題を持つソナタ形式の楽章で、怒りと焦燥が荒れ狂う。4楽章制の交響曲のアレグロとスケルツォを兼ねる内容である。不安げに疾走する弦とハープとチェレスタの短い導入に続いて短い主題が繰り返される。さまざまな楽器の組み合わせで音楽は浮動しながら進む。金管と打楽器の連打が、時には暴力的なまでに音楽を高揚させる。随所に現れるピア

ノの効果的な使用は、ストラヴィンスキーの《3楽章の交響曲》を彷彿させる。

第2楽章 レント・アッサイ

三部形式。楽想の上でウォルトンの歌劇《トロイラスとクレシダ》(1954年初演)との関係が深い。シェイクスピアの同名の戯曲に基づく、古代ギリシアのトロイ戦争を舞台にした悲恋の物語。王子トロイラスを待ちわびる神官の娘クレシダの、憧れと不安が投影された緩徐楽章である。抒情的な主題がファゴットをはじめとする木管楽器によって担われ、とりわけファゴットとイングリッシュ・ホルンとオーボエの三重奏が美しい。クラリネットとファゴットの静かな歩みで始まる中間部を経て、再現部では独奏ホルンの周辺を弦、木管、チェレスタと2台のハープが上下行を繰り返す。劇的な高揚の後、分割されたチェロとコントラバスの静かな響きで終わる。

第3楽章 パッサカリヤ:主題と変奏、フガート、コーダ(スケルツァンド)

12音を使用した主題と10の変奏によるパッサカリヤで、後半にはフガートとコーダが置かれている。金管楽器群による重々しい主題の提示に続き、精緻な管弦楽法による短い変奏が次々と繰り出され、多様なモチーフは短いフガートで纏めあげられていく。神秘的な経過句に続き、輝かしい金管楽器群のファンファーレと叩きつけるような和声で曲は結ばれる。

楽器編成: フルード3(ピッコロ持替1)、オーボエ3(イングリッシュ・ホルン持替1)、クラリネット3(E♭管クラリネット持替1、バス・クラリネット持替1)、ファゴット3(コントラ・ファゴット持替1)、ホルン4、トランペット3、トロンボーン2、バス・トロンボーン1、テューバ1、ティンパニ、大太鼓、小太鼓、シンバル、タンバリン、グロックンシュピール、ヴィブラフォン、シロフォン、鐘、ミタリードラム、ハープ2、ピアノ、チェレスタ、弦楽5部。



PHOTO 1 6月東京定期演奏会は、意外にも東京定期初登場となる大植英次さんが指揮。前半はワーグナーの《トリスタンとイゾルデ》より前奏曲と愛の死、そして阪田知樹さんを迎えてのプロコフィエフのピアノ協奏曲第2番。後半はチャイコフスキーの《悲愴》をお届けしました。前半終了後のバックステージでお二人をばしゃり



PHOTO 2 オークストラ・キャラバンで、14日は石巻に、16日は奥州へ。お客様がとても温かく迎え入れてくださり、出演者一同、大感激。終演後の海老原光さん、江原陽子さん、楽屋の前でピース!



PHOTO 3 6月20日～23日は杉並区の音楽鑑賞教室! 杉並区の小中学生の皆様にご来場いただきました。指揮者の阿部未来さんとテノールの芹澤佳通さんを楽屋前でバシヤリ。元気な生徒の皆さんに、オーケストラもエネルギーをたくさんいただきました!



PHOTO 4 6月29日杉並公会堂シリーズと30日さいたま定期演奏会は、下野竜也さんと角野隼斗さんとご一緒しました。楽員も一緒に、演奏後の和やかなショットをどうぞ!
*(協奏曲はのぞく)



PHOTO 5 7月横浜定期演奏会は、川瀬賢太郎さんと菊池洋子さんと共に、モーツァルトの《フィガロの結婚》序曲、ピアノ協奏曲第25番そしてストラヴィンスキーの《春の祭典》お届けしました。今回からシーズン・ファイナル・パーティも復活!川瀬さん、菊池さん、コンマスの田野倉のスリーショット!



PHOTO 6 7月東京定期演奏会は、広上淳一マエストロによるオペラ・シリーズ。レオンカヴァッロの《道化師》を演奏会形式でお楽しみいただきました。こちらもシーズン・ファイナル。9月からの定期演奏会もよろしく願いいたします!*

*印のアーカイブ配信はMember's TVU CHANNELで。
<https://members.tvuch.com>



2023

第九特別演奏会

指揮：広上 淳一 [フレンド・オブ・JPO (芸術顧問)]

12/16 土 17:00
[横浜みなとみらいホール]
【第393回横浜定期演奏会】

12/17 日 14:00
[サントリーホール]

ソプラノ：竹下 みず穂 アルト：但馬 由香
テノール：工藤 和真 バリトン：池内 響
合唱：東京音楽大学 (12/16)
日本フィルハーモニー協会合唱団 (12/17)

.....
ケルビーニ：歌劇《アナクレオン》序曲
ベートーヴェン：交響曲第9番《合唱》

指揮：小林 研一郎 [桂冠名誉指揮者]

12/21 木 19:00
[横浜みなとみらいホール]

12/22 金 19:00
[サントリーホール]

12/25 月 19:00
[東京芸術劇場]

12/26 火 19:00
[東京芸術劇場]

12/27 水 19:00
[東京芸術劇場]

パイプオルガン：石丸 由佳
ソプラノ：小川 葉奈 (12/21～25)
市原 愛 (12/26、27)
アルト：山下 牧子
テノール：錦織 健 (12/21～25)
笛田 博昭 (12/26、27)
バリトン：大沼 徹 (12/21、25)
青戸 知 (12/22)
青山 貴 (12/26、27)
合唱：東京音楽大学 (12/21、22)
武蔵野合唱団 (12/25)
日本フィルハーモニー協会合唱団 (12/26、27)

.....
J.S.バッハ：
高き天よりわれは来たれ、主よ、
人の望みの喜びよ、
トッカータとフーガBWV565
(以上3曲パイプオルガン独奏)
ベートーヴェン：交響曲第9番《合唱》

チケット料金
(全席指定・消費税込)

S ¥9,000 A ¥7,500 B ¥7,000 C ¥6,000
Ys (25歳以下) ¥3,500 Gs (65歳以上) ¥6,000 (12/16除く)

2023年
9月15日(金) 発売

あらゆる人々へ、あらゆる世代へ、 あらゆる地域へ、世界へ

インターンシップ生の受け入れ

日本フィルは音楽業界を目指す人を応援しています

日本フィルの夏の風物詩とも言える「夏休みコンサート」は49回を数え、オーケストラ公演とは別に、ロビーでの「ウェルカムコンサート」、出演者が子どもたちの質問に答える「懇談会」、「楽員によるサイン会」など、ご家族で楽しめる様々なロビーイベントを開催しています。コロナ禍ではイベントの開催を見送っていましたが、今年は4年ぶりにイベントが復活！それに伴い、演奏会の運営を体験するインターンシップ生の受け入れも再開しました。

久しぶりのイベント開催、そして学生の募集に、どれだけの応募があるだろう…という不安な気持ちは杞憂に終わり、なんと80名のご応募をいただきました。そして今年は、音楽はもちろん、教育や政治経済など様々な分野を専攻する18名のインターン生にご参加いただくことになりました。

事前の研修では、日本フィルの基本理念、日頃の活動、各部署の担当者からそれぞれの仕事の役割をお話し、参加者も今回応募した経緯や意気込みを話してくれました。これらの研修を経て、公演当日はインターン生が大活躍！ホールごとに異なるロビー条件を踏まえてイベントの開催場所を決め、お客様の動線をイメージしながら掲示物を貼るなど、皆で積極的に意見を出し合い盛り上げていきました。

オーケストラの演奏会を開催するうえで必要とされる細やかな配慮、お客様の笑顔や感謝の言葉、子どもたちの元気な歌声。これらは実際に運営に関わらないと感ずることのできないことばかりです。過去にはインターンシップ卒業生の中から、実際に音楽業界に携わる人材も多数輩出していますが、今回出会った学生たちもこの経験を活かしてそれぞれの分野で活躍してくれることを願っています。



▲ウェルカムコンサートの準備



▲お客様のご案内



▲サイン会の列整理



▲イベント開催のアナウンス

2023年 秋季セット券

S席セット ¥20,000 A席セット ¥16,000

好評発売中！

※各種会員の特典は併用できません

第401回名曲コンサート

サントリーホール

2023年 9月10日(日) 14:00 開演

指揮: 小林 研一郎 [桂冠名誉指揮者]

ヴァイオリン: 高木 凜々子 オルガン: 石丸 由佳

サラサーテ: ツィゴイネルワイゼン

サン=サーンス: 交響曲第3番《オルガンつき》

ハ短調 op.78 他



©Naoya Yamaguchi

1回券 料金 S ¥8,000 A ¥6,500 B ¥6,000 C ¥5,000 P ¥4,000
Gs (65歳以上) ¥5,000 Ys (25歳以下) ¥1,500

好評発売中！

第402回名曲コンサート

サントリーホール

2023年 10月22日(日) 14:00 開演

指揮: カーチュン・ウォン [首席指揮者] ピアノ: 亀井 聖矢

ショパン: ピアノ協奏曲第1番 ホ短調 op.11

ブラームス: 交響曲第1番 ハ短調 op.68



©Angie Kremer

©T.Tairadate

1回券 料金 S ¥8,000 A ¥6,500 B ¥6,000 C ¥5,000 P ¥4,000
Gs (65歳以上) ¥5,000 Ys (25歳以下) ¥1,500

好評発売中！

第252回芸劇シリーズ

東京芸術劇場

2024年 1月14日(日) 14:00 開演

指揮: 川瀬 賢太郎 ピアノ: 清水 和音

チャイコフスキー: 歌劇《エフゲニー・オネーギン》より「ボロネーズ」

チャイコフスキー: ピアノ協奏曲第1番 変ロ短調 op.23

J.シュトラウス II 世: ポルカ《ハンガリー万歳》 op.332

ブラームス: ハンガリー舞曲第5番

J.シュトラウス II 世: ワルツ《南国のバラ》 op.388

レスピーギ: リュートのための古風な舞曲とアリアより「シチリアーナ」

J.シュトラウス II 世: 喜歌劇《こもり》序曲



©Yoshinori Kurosawa

©Mana Miki

1回券 料金 S ¥7,000 A ¥5,500 B ¥5,000 C ¥4,000
Gs (65歳以上) ¥4,000 Ys (25歳以下) ¥1,500

2023年
10月4日(水) 発売

第403回名曲コンサート

サントリーホール

2024年 1月21日(日) 14:00 開演

指揮: カーチュン・ウォン [首席指揮者] ピアノ: 上原 彩子

伊福部昭: 舞踊曲《サロメ》より「7つのヴェールの踊り」

ラフマニノフ: バガニニの主題による狂詩曲 op.43

ベルリオーズ: 幻想交響曲 op.14



©Angie Kremer

©武藤 幸

1回券 料金 S ¥8,000 A ¥6,500 B ¥6,000 C ¥5,000 P ¥4,000
Gs (65歳以上) ¥5,000 Ys (25歳以下) ¥1,500

2023年
10月4日(水) 発売

想像を、チカラに。



人が想像できることは、必ず人が実現できる。
鹿島の都市づくりは、100年先を見つめています。

100年をつくる会社
in 鹿島



&



あれもこれも、で
いい街にしよう。

たとえば、伝統と革新。都市と自然。
経済と文化。住む人と働く人。
あれかこれか、ではなく、あれもこれも。
私たち三井不動産は、
異なる概念やさまざまな人を結びつけて、
イノベーションや挑戦、
驚きや希望や愛といった、
新しい価値を次々と街に生み出していきたい。
そして街に集う人たちと一緒に、
その先の日常をつくっていきたい。
街は人とともに。
三井不動産の「&」の街づくりは続きます。

 **三井不動産**
MITSUI FUDOSAN

未来への想像は、紙で広がる。

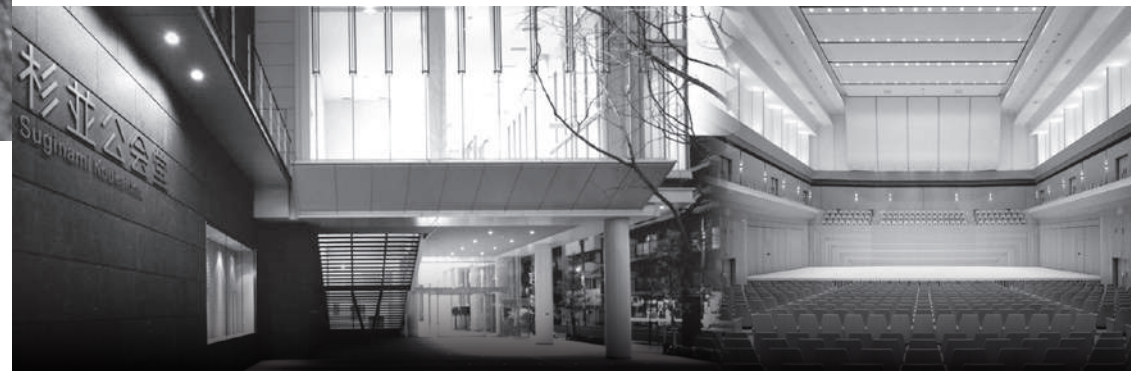
FSC® 森林認証紙

森林管理に関するFSCの原則と規準では、「森林のもたらすサービスや価値の維持・向上」、
「価値のある森林生態系を守ること」などが求められており、生物多様性の保全が図られています。



最高級のアコースティックを誇る

杉並公会堂 Suginami Koukaidou



日本フィルは杉並公会堂を活動拠点とし、
様々な活動を通じて音楽文化を発信しています。



日本フィル杉並公会堂
シリーズ公演より



春休みオーケストラ探検より
楽器体験



公開リハーサル

日本フィルを支えてくださる皆様に、
心より御礼申し上げます。

日本フィルは多くの方々の支えを基に、年間150回を超える演奏会を中心とした多彩な活動を行っています。質の高い演奏を継続してお届けするため、また、音楽を通して「豊かな社会」の実現の一翼を担う活動をいっそう推進するために、幅広い皆様のお力によって経済的基盤を強化することを願っております。

演奏によって皆様とつながり、皆様とともに豊かな社会を実現する担い手となることを願い、「オーケストラ・コンサート」「エデュケーション・プログラム」「リージョナル・アクティビティ」という三つの柱で活動を行い、音楽を通して文化を発信しています。

私達は、日ごろの活動を通して、音楽とはネットワーク、コミュニケーションの力によって広がり、喜びがより深くなるものだ実感しております。日本フィルの楽団員一同は、音楽によって人と人が繋がる喜びをもっとも理解する音楽集団として、人の心の温かさを、演奏に乗せて届けます。

日本フィルの活動を維持・発展させるためには、自助努力もちろん大切です。引き続き経営面での努力を重ねます。

しかしいっぽう、文化の事業には継続性が大切です。こんにちの日本において、安定した活動を継続するためには皆様からいただく寄付、ご支援が欠かせません。日本フィルは今後、様々なコミュニティの皆様とともに多彩な活動を行っていきたいと考えております。

社会のより一層の発展にとって、文化の成熟は欠くことができないものとなっております。日本フィルも、その一翼を担う存在として、皆様とともにその社会的役割をさらに充実させてまいりたいと考えております。どうぞ温かいご支援をお願い申し上げます。

日本フィルハーモニー交響楽団
理事長 平井 俊邦

■お振込みでのご寄付

①お名前 ②ご住所 ③TEL ④お振込額 を
メール donation@japanphil.or.jp まで
お知らせください。

【お振込先口座】

三菱UFJ銀行 高円寺支店(支店コード:155)
普通預金 0242402

公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団

※振込手数料はご負担くださいますようお願い申し上げます。

■オンライン寄付

日本フィルの公式ホームページから
クレジットカードによりご寄付いただけます。

右のQRコードから
ご寄付のサイトを
ご覧いただけます。

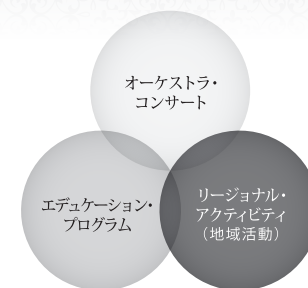


ご寄付をいただきました方には、
後日寄付金受領書等をお送りいたします。

感動の共有 日本フィルハーモニー交響楽団

文化の発信

日本フィルは、
質の高い音楽をお届けする《オーケストラ・コンサート》
音楽との出会いを広げる《エデュケーション・プログラム》
そして音楽の力で様々なコミュニティを活性化させる
《リージョナル・アクティビティ》という
三つの柱で活動を行い、
音楽を通して文化を発信しています。



今月から下記の方々よりご支援をいただくことになりました。(敬称略)

バトロネージュ 明田 重樹 東京都 / 仙田 厚毅 千葉県 / 松村 美希 東京都 / 匿名1名

日本フィルへのご寄付

税額控除または所得控除の対象となります。詳しくは左のページをご覧ください。

バトロネージュ[個人寄付会員]

プログラム誌へのご芳名掲載などの特典があります。税額控除または所得控除の対象となります。
年会費:3万円/5万円/12万円/20万円/50万円/100万円

日本フィル・サポーターズクラブ

音楽に関心を持つ皆様に日本フィルの活動をご支援いただくシステムです。ご招待券2枚プレゼント、
主催公演チケット優先受付・優待(1割引)など様々な特典があります。
年会費:1万円

特別会員[法人寄付]

定期演奏会のご案内、プログラム誌へのご芳名の掲載などの特典があります。寄付金額を損金に算入することができます。

遺贈

遺言により財産をご寄付頂く方法です。税制上の優遇措置の対象となります。お申込みの方法など、提携銀行のご紹介など、詳しくは事務所までご相談ください。

お問い合わせ:日本フィル事務所 TEL03-5378-6311(10-18時、土日祝日休)

日本フィルハーモニー交響楽団 特別会員ご芳名

株式会社IDホールディングス	
代表取締役社長 船越 真樹	
株式会社アイレ	代表取締役社長 荒江 健
アイング株式会社	代表取締役会長 飯嶋 庸夫
赤坂維新號	代表取締役社長 鄭 東静
あすか製菓株式会社	代表取締役社長 山口 惣大
株式会社アトックス	代表取締役社長 矢口 敏和
株式会社アドビビジネスコンサルタント	
代表取締役社長 池田 昭司	
イソソリューションズ株式会社	
代表取締役社長 佐々木経世	
株式会社泉商会	代表取締役社長 八方 淑夫
株式会社泉放送制作	代表取締役社長 日下部恵一
磯野不動産株式会社	代表取締役社長 磯野 計一
稲畑産業株式会社	相談役 稲畑 勝雄
株式会社インフォーマート	代表取締役社長 中島 健
株式会社内田洋行	代表取締役社長 大久保 昇
内野株式会社	代表取締役社長 内野 信行
宇部エクシモ株式会社	代表取締役社長 古賀 源二
株式会社AIT	代表取締役社長 大熊 克美
ABCシステム株式会社	代表取締役社長 児玉 光宏
株式会社エイブル&パートナーズ	
代表取締役会長兼社長 佐藤 茂	
株式会社エヌエフホールディングス	
代表取締役会長 高橋 常夫	
NGB株式会社	代表取締役社長 宮崎 潔
エヌビーエス株式会社	代表取締役会長 飯嶋 一晃
株式会社エルイーテック	代表取締役社長 坂田 洋一
エレコム株式会社	代表取締役会長 葉田 順治
大隅ミート産業株式会社	代表取締役社長 小森 浩一
株式会社大場造園	代表取締役社長 大場 二郎

岡三証券株式会社	
小川香料株式会社	代表取締役社長 小川 裕
公益財団法人オリックス宮内財団	
代表理事 宮内 義彦	
株式会社カカコム	代表取締役社長 畑 彰之介
鹿島建設株式会社	代表取締役会長 押味 至一
鹿島建物総合管理株式会社	
代表取締役社長 山本 和雄	
鹿島道路株式会社	代表取締役社長 吉田 英信
株式会社カナック企画	代表取締役 金子高一郎
株式会社歌舞伎座	代表取締役社長 安孫子 正
株式会社ガモウ	代表取締役 蒲生 茂
社会医療法人河北医療財団	理事長 河北 博文
川北電気工業株式会社	取締役社長 大津 正己
北野建設株式会社	代表取締役会長兼社長 北野 貴裕
キッコーマン株式会社	
代表取締役社長COO 中野祥三郎	
キャノン株式会社	
代表取締役会長 兼 社長 CEO 御手洗富士夫	
キューピー株式会社	
代表取締役 社長執行役員 高宮 満	
株式会社協和日成	代表取締役社長 川野 茂
キリンホールディングス株式会社	
代表取締役社長 磯崎 功典	
株式会社きんでん	取締役社長 上坂 隆勇
株式会社九曜社	代表取締役社長 望月 耕次
グローブシップ株式会社	代表取締役社長 矢口 敏和
京王重機整備株式会社	代表取締役社長 寺田雄一郎
株式会社京王設備サービス	取締役社長 梁瀬 哲夫
京王電鉄株式会社	
代表取締役社長社長執行役員 都村 智史	
京浜急行電鉄株式会社	取締役社長 川俣 幸宏
株式会社小泉	代表取締役社長 長坂 剛

株式会社興建社	代表取締役 水島 隆明
コーザイ株式会社	代表取締役 貝沼 信和
株式会社講談社	代表取締役社長 野間 省伸
株式会社コバヤシ	代表取締役 小林 達夫
コンパッソ税理士法人	代表社員 内川 清雄
株式会社コトブキ	代表取締役社長 深澤 幸郎
株式会社コンサートサービス	代表取締役 佐藤 修悦
佐藤製菓株式会社	代表取締役社長 佐藤 誠一
三機工業株式会社	特別顧問 梶浦 卓一
山九株式会社	代表取締役社長 中村 公大
サントリーホールディングス株式会社	
代表取締役社長 新浪 剛史	
三洋貿易株式会社	代表取締役社長 新谷 正伸
ジエルサイエンス株式会社	取締役社長 長見 善博
ジェネロ株式会社	代表取締役 竹内 大志
株式会社慈恵実業	代表取締役社長 石塚 雄三
澁谷工業株式会社	取締役社長 澁谷 英利
株式会社じほう	代表取締役会長 武田正一郎
清水建設株式会社	代表取締役社長 井上 和幸
株式会社集英社	代表取締役社長 廣野 真一
ショーボンドホールディングス株式会社	
代表取締役社長 岸本 達也	
新菱冷熱工業株式会社	代表取締役社長 加賀美 猛
株式会社ジャックス	代表取締役社長 村上 亮
株式会社ジンテック	代表取締役 柳 秀樹
杉山商事株式会社	取締役社長 杉山 健
住友ベークライト株式会社	代表取締役社長 藤原 一彦
株式会社スプリックス	代表取締役社長 常石 博之
全国保証株式会社	代表取締役社長 青木 裕一
第一倉庫株式会社	会長 小泉 駿一

株式会社泰秀	代表取締役社長 野口 通子
大正製薬株式会社	取締役会長 上原 明
大同生命保険株式会社	代表取締役社長 北原 睦朗
大日本除虫菊株式会社	代表取締役社長 上山 直英
大和製罐株式会社	代表取締役社長 山口 裕久
高砂熱学工業株式会社	
代表取締役社長COO 社長執行役員 小島 和人	
千歳コーポレーション株式会社	
取締役社長 森岡 寛司	
千代田化工建設株式会社	
代表取締役会長兼社長 榊田 雅和	
株式会社千代田テクノル	代表取締役会長 細田 敏和
塚本總業株式会社	代表取締役社長 塚本 素清
ディアンドデパートメント株式会社	
代表 ナガオカケンメイ	
DM三井製糖株式会社	
学校法人帝京大学	理事長 冲永 佳史
株式会社T&Aマネジメント	代表取締役 長田忠千代
THK株式会社	代表取締役社長 寺町 彰博
株式会社電通	代表取締役 社長執行役員 榎谷 典洋
東亜建設工業株式会社	代表取締役社長 早川 毅
株式会社東急コミュニティー	取締役社長 木村 昌平
東京海上日動火災保険株式会社	
取締役社長 広瀬 伸一	
株式会社東京交通会館	代表取締役社長 興野 敦郎
東京都杉並区	区長 岸本 聡子
東京美装興業株式会社	代表取締役社長 八木 秀記
東洋熱工業株式会社	代表取締役社長 谷口 昌伸
戸田建設株式会社	代表取締役会長 今井 雅則
学校法人東京音楽大学	理事長 丸山恵一郎
株式会社永田音響設計	代表取締役社長 小口 恵司

株式会社永谷園ホールディングス
代表取締役会長 永谷栄一郎

株式会社ナミキ 代表取締役会長兼社長 並木 洋一

日総工業株式会社
代表取締役社長執行役員 兼 CEO 清水 竜一

日鉄興和不動産株式会社 代表取締役社長 三輪 正浩

株式会社ニフコ 代表取締役会長 山本 利行

日本精工株式会社 取締役会長 内山 俊弘

日本製鉄株式会社 代表取締役社長 橋本 英二

日本電子株式会社
代表取締役会長 兼 取締役会議長 栗原権右衛門

日本パーカライジング株式会社

株式会社日本マイクロニクス
代表取締役社長 長谷川正義

株式会社ネイチャーズウェイ
代表取締役社長 萩原 吉晃

根本特殊化学株式会社 代表取締役社長 根本美恵子

パイオニア株式会社
代表取締役兼社長執行役員 矢原 史朗

ハウス食品グループ本社株式会社
代表取締役社長 浦上 博史

株式会社博報堂 代表取締役社長 水島 正幸

ハナマルキ株式会社 代表取締役社長 花岡周一郎

パンパシフィック・カップー株式会社
代表取締役社長 堀 一浩

阪和興業株式会社 代表取締役社長 中川 洋一

東日本住宅株式会社 代表取締役 桃野 直樹

非破壊検査株式会社 代表取締役社長 山口多賀幸

ひびき・パース・アドバイザーズ
代表取締役社長 清水 雄也

株式会社ファミーユ 代表取締役 新庄眞帆子

富国生命保険相互会社 代表取締役社長 米山 好映

富士急行株式会社 代表取締役社長 堀内光一郎

富士テレコム株式会社 代表取締役社長 西田 孝一

一般財団法人 藤本育英財団

古河産業株式会社 代表取締役社長 伊藤 啓真

合同会社ベルファーマシー 代表社員 前島 景子

株式会社ポーラ・オルビスホールディングス

ホッカンホールディングス株式会社
代表取締役社長 池田 孝資

株式会社ポニーキャニオン
代表取締役社長 吉村 隆

本田技研工業株式会社
取締役 代表執行役社長 三部 敏宏

株式会社牧野フライス製作所
取締役社長 宮崎正太郎

マネックスグループ株式会社
代表執行役 清明 祐子

株式会社丸井グループ 代表取締役社長 青井 浩

株式会社丸の内よろず 取締役社長 中村 正博

丸美屋食品工業株式会社 代表取締役社長 阿部豊太郎

株式会社三井住友銀行 頭取CEO 高島 誠

三井倉庫ホールディングス株式会社
代表取締役社長 古賀 博文

三井不動産株式会社 代表取締役会長 菰田 正信

株式会社三越伊勢丹アイムファシリティーズ
代表取締役会長 飯嶋 庸夫

株式会社三越伊勢丹ホールディングス
特別顧問 石塚 邦雄

三菱HCキャピタル株式会社
代表取締役 社長執行役員 久井 大樹

三菱オートリース株式会社
代表取締役社長 中野 智

三菱ガス化学株式会社 代表取締役社長 藤井 政志

三菱地所株式会社 執行役社長 吉田 淳一

三菱自動車工業株式会社
取締役代表執行役社長 兼 最高経営責任者 加藤 隆雄

三菱重工業株式会社 取締役社長 泉澤 清次

三菱倉庫株式会社 相談役 宮崎 毅

株式会社三菱UFJ銀行 頭取 半沢 淳一

三菱UFJ証券ホールディングス株式会社
取締役社長 兼 グローバルCEO 小林 真

武蔵商事株式会社 代表取締役 宇田川紀通

明治安田生命保険相互会社
取締役代表執行役社長 永島 英器

株式会社明和住販流通センター
代表取締役 塩見 紀昭

メッドサポートシステムズ株式会社
代表取締役 谷川ひとみ

株式会社メディアグラフィックス
代表取締役社長 我妻まどか

株式会社メルコホールディングス
代表取締役社長 牧 寛之

森社会保険労務士事務所 所長 森 康之

株式会社ヤクルト本社 相談役名誉会長 堀 澄也

山崎製パン株式会社

UBE株式会社 取締役会長 山本 謙

ユウキフーズシステム株式会社
代表取締役社長 田中 秀和

横河電機株式会社

米持建設株式会社 代表取締役 米持 大介

リガク・ホールディングス株式会社
取締役会長 志村 晶

株式会社リョーサン
代表取締役社長執行役員 稲葉 和彦

株式会社Rings 代表取締役 矢部 和広

株式会社リンレイ 代表取締役社長 鈴木 信也

株式会社LEOC 代表取締役会長兼社長 小野寺裕司

ローム株式会社
代表取締役社長 社長執行役員 松本 功

匿名5名

(2023年9月1日現在・50音順・敬称略)

パトローネージュで芳名

美樹次和郎彰昇隆郎子麻郎一子憲茂子雄慧
雅重純英理俊秀一純干光桂惠信重
田野吹厚阿荒荒有安飯飯近浦田野谷澤塚津橋藤藤上上瀨上悅村賀井內江口藤上久島太田
田野吹厚阿荒荒有安飯飯近浦田野谷澤塚津橋藤藤上上瀨上悅村賀井內江口藤上久島太田
明月朝朝厚阿荒荒有安飯飯近浦田野谷澤塚津橋藤藤上上瀨上悅村賀井內江口藤上久島太田

東京都
東京都
埼玉県
東京都
東京都
神奈川県
東京都
東京都
東京都
神奈川県
埼玉県
東京都
東京都
東京都
東京都
東京都
東京都
東京都
東京都
東京都
東京都
千葉県
東京都
東京都
神奈川県
東京都
東京都
東京都
埼玉県
東京都
東京都
神奈川県
静岡県
東京都
神奈川県
東京都
東京都
神奈川県
東京都
神奈川県
埼玉県
神奈川県

男夫康太晉子史司久子一孝生子織沙裕英英史二子康夫一宣修肇夫子一義宏幸美江嗣裕司子郎男子樹知信雄宏
達宣裕京尚雅群弘洋健道昌沙裕英英史壹丈るひ頼貞淑和孝雅義治和久篤惠明隆哲朝真信一
田塚藤森田田田林澤上小野小幡原田間澤島貝山藤藤藤藤藤金子條條山合畑田野池多村北村本刈野谷栗原柳實
太大大岡岡岡岡奧尾小野小幡原田間澤島貝山藤藤藤藤藤金子條條山合畑田野池多村北村本刈野谷栗原柳實
太大大岡岡岡岡奧尾小野小幡原田間澤島貝山藤藤藤藤藤金子條條山合畑田野池多村北村本刈野谷栗原柳實

千葉県
東京都
埼玉県
東京都
東京都
埼玉県
神奈川県
東京都
神奈川県
東京都
岩手県
岩手県
東京都
東京都
東京都
神奈川県
福島県
東京都
東京都
東京都
静岡県
東京都
東京都
東京都
埼玉県
千葉県
東京都
神奈川県
千葉県
東京都
神奈川県
東京都
東京都
埼玉県
神奈川県
神奈川県
東京都
東京都
埼玉県
東京都
東京都
埼玉県
東京都

夫和子美彦昌俊哲男之昭美雄一雄知英貴帆子合唱敏郎子明子昌祐公兼絲通厚神郎德幸忠雄子喜郎智郎幸介男靖和子裕容俊康仲英武真正淑敏精幸知英貴帆子合唱敏郎子明子昌祐公兼絲通厚神郎德幸忠雄子喜郎智郎幸介男胡小林見味并卷形藤藤間井田清水河下生新晉賀千杉山木野尾石田宗染野田井須田橋岡武竹中仲田邊村

[illegible]

田村	浩章	東京都
塚本	和久幸	東京都
塚本	美雅	東京都
鷺井	厚夫	東京都
津田	仲久	東京都
常石	義博	東京都
角田	博一	東京都
積田	峻孝	東京都
d日本	フィルの会	
寺澤	佳代	東京都
東京	フロイデ合唱団	
東瀨	朗	新潟県
時枝	直満	東京都
徳外	陽三	東京都
山田	隆一	東京都
中尾	誠利	神奈川県
ナガオカ	ケンイ	東京都
中島	泰穂	東京都
中島	美知子	東京都
長瀬	雅則	東京都
園田	和博	東京都
仲西	喜泉	東京都
永野	琢夫	東京都
中村	公良	東京都
中本	逸郎	東京都
中那	雄治	東京都
須年	紀綾	東京都
藁新	啓	東京都
倉澤	豊	東京都
西村	敬子	京都府
西村	醇子	神奈川県
日本	フィルハーモニー	
協会	所沢支部	
		埼玉県
二村	英之美	東京都
村口	清元彦	東京都
沼口	直之昭	東京都
根本	文昭	千葉県
野崎	文昭	千葉県
谷崎	純一	千葉県
箱見	正尚	東京都
濱田	俊人	東京都
原	幸博	千葉県
針谷	史	静岡県
		東京都

高井田林瀬井藤本原瀬古田前田野木田尾松村本木島川本藤上上田永森川木口倉野山口山口山口山口越
日平田平広深福藤本由紀明太史澄信文讓美信義光之男二子美郎泰樹之郎和紀剛彦栄之り弘
男邦邦直勝晴茂英昭裕一薫也弘太郎汎彦義子光之男二子美郎泰樹之郎和紀剛彦栄之り弘
好邦邦直勝晴茂英昭裕一薫也弘太郎汎彦義子光之男二子美郎泰樹之郎和紀剛彦栄之り弘

東京都
神奈川県
神奈川県
神奈川県
東京都
大分県
神奈川県
神奈川県
東京都
東京都
東京都
東京都
東京都
東京都
東京都
神奈川県
千葉県
東京都
神奈川県
東京都
東京都
東京都
東京都
神奈川県
東京都
東京都
千葉県
兵庫県
埼玉県
埼玉県
東京都
東京都
神奈川県
神奈川県
神奈川県
神奈川県
山梨県
千葉県
東京都
東京都
東京都
東京都
東京都
長崎県
東京都
長野県

[illegible]

匿名43名

北海道
神奈川県
東京都
東京都
東京都
東京都
東京都
東京都
神奈川県
埼玉県
東京都
東京都
東京都
東京都
東京都
東京都
山口県

(2023年7月20日現在)
50音順・敬称略

Member's TVU CHANNEL CLASSICAL MUSIC

クラシカルミュージック

<https://members.tvuch.com>



Member's TVU CHANNELは、クラシック音楽のコンサートの臨場感をいつでもどこでもお楽しみいただけるインターネット・サイトです。コンサートホールからのライブ配信、さらにコンサートが終わったあともアーカイブ映像としていつでも視聴可能です。
日本フィルの配信は1,000円で3か月間何度でもご視聴いただけます(販売期間は6ヶ月です)。

まずはID登録! メールアドレスとパスワードのみで簡単!

3月3日	東京定期演奏会	指揮:小林 研一郎 ピアノ:金子 三勇士
リスト:ピアノ協奏曲第1番	ベートーヴェン:交響曲第3番《英雄》	
3月11日	横浜定期演奏会	指揮:藤岡 幸夫 サクソフォン:須川 展也
菅野祐悟:サクソフォン協奏曲《Mystic Forest》	チャイコフスキー:交響曲第4番	
3月18日	芸劇シリーズ	指揮:鈴木 織衛 出演:SUPER BRASS STARS 他
だったん人の踊り、宝島、Stardust 他		
3月25日	さいたま定期演奏会	指揮:小林 研一郎 ヴァイオリン:神尾 真由子
シベリウス:ヴァイオリン協奏曲	ムソルグスキー(ラヴェル編):組曲《展覧会の絵》	
4月29日	東京定期演奏会	
指揮:ピエタリ・インキネン ソプラノ:ヨハンナ・ルサネン バリトン:ヴィッレ・ルサネン		
男声合唱:ヘルシンキ大学男声合唱団、東京音楽大学		
シベリウス:《クレルヴォ交響曲》		
5月12日	東京定期演奏会	指揮:カーチン・ウォン チェロ:佐藤 晴真
ミャスコフスキー:交響曲第21番《交響幻想曲》		
芥川也寸志:チェロとオーケストラのための《コンチェルト・オスティナート》		
ヤナーチェク:シンフォニエッタ		
5月19日	さいたま定期演奏会	指揮:ピエタリ・インキネン ヴァイオリン:成田 達輝
シベリウス:交響詩《フィンランディア》、交響曲第2番		
ベートーヴェン:ヴァイオリン協奏曲		
5月21日	名曲コンサート	
指揮:ピエタリ・インキネン ソプラノ:森谷 真理 アルト:池田 香織 テノール:宮里 直樹		
バリトン:大西 宇宙 合唱:東京音楽大学		
シベリウス:交響詩《タピオラ》、ベートーヴェン:交響曲第9番《合唱》		
6月9日	東京定期演奏会	指揮:大植 英次 ピアノ:阪田 知樹
プロコフィエフ:ピアノ協奏曲第2番、チャイコフスキー:交響曲第6番《悲愴》		
7月7日	東京定期演奏会	
指揮:広上 淳一 カニオ:笛田 博昭 ネット:竹多 倫子 トニオ:上江 隼人 ベッペ:小堀 勇介		
シルヴィオ:池内 響 合唱:東京音楽大学 児童合唱:杉並児童合唱団		
レオンカヴァッロ:歌劇《道化師》		
9月1日	東京定期演奏会	指揮:山田 和樹
モーツァルト:アイネ・クライネ・ナハトムジーク		
J.S.バッハ(斎藤秀雄編曲):シャコンヌ		
ウォルトン:戴冠式行進曲《宝玉と勺杖》、交響曲第2番		

❖ 新入団員紹介 ❖

新入団員に10の質問!

チェロ

門脇 大樹 KADOWAKI Hiroki

かどわきひろき

ソロ・チェロに就任いたしました門脇大樹をご紹介します。



- 誕生日 5月25日
- 私はこんな人 マイペース
- 楽器を始めたきっかけ 兄より大きな楽器をやりたいと言っていたらしいです。
- 音楽家になっていなかったら? サッカー関係か農家
- 時間があったら何をしたい? 行った事がない国に行きたい
- リラックス方法は? 子供の肩もみ
- 好きな映画を一つ教えてください la strada
- 座右の銘があれば 身土不二
- 日本フィルに入団が決まった瞬間の気持ちを一言で ありがとうございます。
- ずばり、今のところ日本フィルはこんなオケだと思う 熱量が高いオーケストラ
- 最後にお客様へのメッセージをお願いいたします
様々なオーケストラ作品の奥深い魅力をさらに引き出せる様、
最善を尽くしたいです。今後ともよろしくお願い致します。

NEXT CONCERTS
≫ 次回東京定期演奏会

第 **754** 回

サントリーホール

2023年 **10月13日(金)** 19:00開演 プレトーク 18:30~ 両日とも
14日(土) 14:00開演 プレトーク 13:20~ プレトークあり!

【首席指揮者就任披露演奏会】



指揮: **カーチュン・ウォン**
【首席指揮者】

メゾ・ソプラノ: **山下 牧子**
女声合唱: **harmonia ensemble**
児童合唱: **東京少年少女合唱隊**

マーラー: 交響曲第3番 二短調

1回券料金 **S ¥8,000 A ¥6,500 B ¥6,000 C 完売 P 合唱団席 Ys (25歳以下) ¥1,500**

※障害者手帳をお持ちの方は割引がございますので、サービスセンターにお問い合わせください。

次回東京定期演奏会指揮者にインタビュー! カーチュン・ウォン 編

聞き手 八木 宏之

🎶 日本フィルハーモニー交響楽団首席指揮者就任披露演奏会へ向けて 🎶

—カーチュンさんが首席指揮者としてのスタートに選んだ作品は、マーラーの交響曲第3番です。首席客演指揮者就任披露演奏会でも交響曲第5番を取り上げたカーチュンさんですが、マーラーとの出会いはどのようなものだったのでしょうか?

ブラスバンドでトランペットを吹いていた私にとって、マーラーの音楽は自然と自分のなかに入ってくるものでした。兵役の際に所属していた軍楽隊では、トランペットの先輩たちがウォーミングアップに交響曲第5番冒頭のファンファーレを吹いていました。これが私にとって最初のマーラー体験でした。

—マーラーは当代屈指の名指揮者でもありました。マーラーのスコアから、彼の指揮者としての哲学を感じることはありますか?

マーラーがスコアに書き込んだ指示を見ると、彼がいかに優れた指揮者であったのかよくわかります。マーラーの指示はとても具体的で、それらは指揮者のマインドで書かれてい

ます。マーラーの指揮者としての経験に基づく指示を忠実に守って演奏すると、不思議とうまくいくのです。

マーラーはベートーヴェンやシューマンのスコアに手を加えていますが、その仕事からもマーラーがオーケストラの機能、とりわけ管楽器の性能を熟知していたことを窺い知れます。

—交響曲第3番は、カーチュンさんが優勝を果たしたグスタフ・マーラー国際指揮者コンクールの課題曲でもありましたね。

今では私にとって大切な作品となった交響曲第3番ですが、グスタフ・マーラー国際指揮者コンクールにチャレンジする以前は、この作品についてそれほど詳しいわけではありませんでした。第3楽章のポスト・ホルンのソロや、第6楽章のコラールをトランペット奏者として知っている程度でした。交響曲第3番が課題曲だと知ったのはコンクールの3ヶ月前で、それから私はこの作品のスコアを徹底的に研究し、可能な限りたくさんの演奏を聴き、リハーサルや演奏会に立ち会うために貯金を全て使って世界中を飛びまわりました。

とりわけ、エサ=ベッカ・サロネンのレッスンを受けることができたのは幸運だったと思います。サロネンの指揮者としてのキャリアはマーラーの交響曲第3番から始まったので、この交響曲は彼にとっても大変思い入れのある作品のようでした。この作品を指揮したことのない私に、サロネンは演奏上の注意すべき点を丁寧に教えてくれました。このコンクールとその準備期間が私の指揮者としての土台を形作っています。

—全6楽章からなる交響曲第3番は、演奏時間が100分にも及び、ニーチェやキリスト教の思想が複雑に絡み合うなど、やや全体像が掴みにくい作品です。この作品を楽しむためのヒントがあれば教えてください。

この交響曲のテーマは「神による世界の創造」です。第1楽章は夏であり、そこで天地の始まりが描かれます。第2楽章では植物が芽吹き、第3楽章では鳥や動物たちが姿を現します。第4楽章はメゾ・ソプラノによる謎めいた歌曲で、ここで初めて人間が登場します。そして第5楽章で天使たちの合唱が響きわたり、第6楽章では愛が語られるのです。特定の宗教は示されていませんが、それは神による永遠の愛と言えるでしょう。このように、交響曲第3番は楽章が進むごとに高い次元へと昇っていくのです。そうしたイメージが、この交響曲を聴くうえでヒントになるかもしれません。

—カーチュンさんは休日に自然のなかで過ごすこともありますか?

私の故郷シンガポールは、小さな国であると同時に眠ることのない大都市でもあります。私はその喧騒のなかで生まれ育ちました。ですから、ドイツに留学したとき、夜9時には街が静まりかえってしまうことにとても驚きました。あまりの静けさにうまく寝付けなかったほどです。また日曜日にはほぼ全ての店が閉まってしまうこともカルチャーショックでした。週末になるとドイツ人たちは街を離れ、スポーツやハイキングを楽しみます。今では私も夜の静けさや自然のなかで過ごす休日が好きになりました。日本の家がある湘南でも、波の音や蝉の鳴き声などに囲まれて暮らしています。

—最後に日本フィルのファンへ向けて、新しいシェフからのメッセージをお願いします。

メゾ・ソプラノの山下牧子さんとは今回が初共演となりますが、山下さんが素晴らしいマーラー歌いであるという評判はいろいろな方から聞いていますので、一緒に演奏できるのがとても楽しみです。トップレベルのオーケストラ、歌手、合唱団とともに、交響曲第3番を最高のクオリティでお届けします。

定期会員のなかには私が生まれる前から、日本フィルのコンサートに通い、その活動を支えてくださっている方もいらっしゃると思います。そうした方々に喜んでいただけるよう、首席指揮者として全力を尽くしていくつもりです。新しいシーズンをぜひ楽しみにしてください。

助成:



文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術等総合支援事業(創造団体支援))
独立行政法人日本芸術文化振興会

文化庁
Agency for Cultural Affairs,
Government of Japan

● 11月横浜定期演奏会及び芸劇シリーズ、12月東京定期演奏会内容決定のお知らせ

6月30日に発表いたしました通り、11月及び12月に来日を予定しておりました桂冠指揮者兼芸術顧問のアレクサンドル・ラザレフ氏については、現地の状況が一定の落ち着きを取り戻すまでは、出演を見送らざるを得ないという結論に至りました。

新首席指揮者カーチュン・ウォンが出演し、以下の通り内容を変更して公演を開催いたします。何卒ご理解くださいますようお願い申し上げます。

第392回横浜定期演奏会

2023年11月25日(土) 17:00開演

横浜みなとみらいホール

第248回芸劇シリーズ

2023年11月26日(日) 14:00開演

東京芸術劇場

指揮:カーチュン・ウォン[首席指揮者]

ピアノ:福岡 光太郎

小山清茂:管弦楽のための木挽歌

プロコフィエフ:ピアノ協奏曲第3番

チャイコフスキー:交響曲第6番《悲愴》

第756回東京定期演奏会

2023年12月8日(金) 19:00開演

2023年12月9日(土) 14:00開演

サントリーホール

指揮:カーチュン・ウォン[首席指揮者]

マリンバ:池上 英樹

外山雄三:交響詩《まつら》

伊福部昭:オーケストラとマリンバのための《ラウダ・コンチェルタータ》

ショスタコーヴィチ:交響曲第5番

● 2023-24シーズンから金曜定期もプレトーク「本日の聴きどころ」開催

これまで土曜限定だったプレトーク「本日の聴きどころ」を、好評につき2023年9月より東京定期演奏会の金曜日にも開催いたします。出演者や音楽評論家等が演奏会の前に舞台上で本日の公演についてわかりやすく解説いたします。ご自身のお席でお楽しみください。今回はマエストロ山田和樹の登場です。

金曜 NEW	土曜
18:20 開場	13:10 開場
18:30 プレトーク開始	13:20 プレトーク開始
18:45 プレトーク終了	13:35 プレトーク終了
19:00 開演	14:00 開演

● テレビ番組レギュラー出演のお知らせ

日本フィルがBSに。指揮者が語るミニ番組!『Welcomeクラシック』BS朝日 毎週水曜日22:54～23:00(第3週、第4週は再放送)。4月からは広上淳一マエストロも登場。ぜひご覧ください!

● 本日の公演は終演時のカーテンコールでの写真撮影が可能です。

携帯電話・スマートフォン付属のカメラで着席のまま撮影をお願いいたします。

フラッシュ、動画撮影はお控えください。詳しくは会場の掲示をご覧ください。

● 新入団のお知らせ

2023年8月20日にヴィオラ・セクションに江藤史織が入団いたしました。今後の活躍にご期待ください。

● もうすぐ発売

2023年9月15日(金) 発売

第九特別演奏会2023

詳細はP11をご覧ください。

2023年10月4日(水) 発売

第252回芸劇シリーズ

2024年1月14日(日) 14:00開演

東京芸術劇場

指揮:川瀬 賢太郎 ピアノ:清水 和音

チャイコフスキー:ピアノ協奏曲第1番

J.シュトラウスⅡ世:喜歌劇《こうもり》序曲 他

2023年10月4日(水) 発売

第403回名曲コンサート

2024年1月21日(日) 14:00開演

サントリーホール

指揮:カーチュン・ウォン[首席指揮者]

ピアノ:上原 彩子

ラフマニノフ:パガニーニの主題による狂詩曲

ベルリオーズ:幻想交響曲 他

人、音楽、自然——日本フィルのテーマです。



楽団創立 1956年 6月

創立指揮者 桂冠名誉指揮者 名誉指揮者 名誉指揮者 客員首席指揮者	渡邊 暁雄 小林 研一郎 ルカーチ・エルヴィン ジェームズ・ロッホラン ネーメ・ヤルヴィ	首席指揮者 桂冠指揮者 兼 芸術顧問 フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)	カーチュン・ウォン アレクサンドル・ラザレフ 広上 淳一
---	--	--	------------------------------------

ソロ・コンサートマスター	扇谷 泰朋				理 事 長(代表理事)	平井 俊邦	
ソロ・コンサートマスター	木野 雅之				副理事長(代表理事)	五味 康昌	
ソロ・コンサートマスター	田野倉雅秋				専務理事(代表理事)	福井 英次	
アシスタント・コンサートマスター	千葉 清加				常務理事(代表理事)	後藤 朋俊	
第1ヴァイオリン	伊藤 太郎	太田 麻衣	九鬼 明子		常務理事(代表理事)	中根 幹太	
	齋藤 政和	梶 渚	竹歳 夏鈴		理 事	石井啓一郎	遠藤 滋
	谷崎 大起	田村 昭博	中谷 郁子			佐々木経世	田村 浩章
	西村 優子	平井 幸子	本田 純一		監 事	戸所 邦弘	福本 ともみ
第2ヴァイオリン	遠藤 直子	大貫 聖子	岡田 純一		評 議 員 会 会 長	上條 貞夫	福澤 宏
	加藤 祐一	神尾あずさ○	川口 貴			加藤 丈夫	佐々木 浩
	佐藤駿一郎	末廣 紗弓	豊田 早織			青井 浩	安孫子 正
	町田 匡	松川 葉月□	山田 千秋			荒崎康一郎	石塚 邦雄
ヴィオラ	安達 真理 ☆	江藤 史織□	小侯 由佳			石村 等	稲垣 尚
	小中澤基道	児仁井かおり	高橋 智史			内川 清雄	大塚 宣夫
	中川裕美子	中溝とも子	松澤 稚奈			海堀 周造	梶浦 卓一

楽団長	中根 幹太	森田 大翔	江原 望
チーフステージマネージャー	阿部 紋子		智樹
ステージスタッフ	長橋 健太		美紀
チーフインスペクター	佐藤駿一郎		雅之
インスペクター	宇田 紀夫		恵子
ライブラリアン	鬼頭さやか		真鍋

ソプラノ	中根 幹太	鈴木 一志	田吉佑久子
メゾソプラノ	伊藤 舜	宇田 紀夫	信末 碩才
テノール	原川翔太郎	丸山 勉	村中 美菜
バス	オッタビアーノ・クリストフオリ	大西 敏幸	中里 州宏
バリトン	犬飼 伸紀	星野 究	笠間 勇登
コントラバス	中務 朋子	笠間 勇登	
フルート	伊藤 雄太		
オーボエ	中根 幹太		
クラリネット	柳生 和大		
ファゴット	エリック・バケラ		
ホルン	大河原 渉		
トランペット	松井 久子		

ソプラノ	中根 幹太	鈴木 一志	田吉佑久子
メゾソプラノ	伊藤 舜	宇田 紀夫	信末 碩才
テノール	原川翔太郎	丸山 勉	村中 美菜
バス	オッタビアーノ・クリストフオリ	大西 敏幸	中里 州宏
バリトン	犬飼 伸紀	星野 究	笠間 勇登
コントラバス	中務 朋子	笠間 勇登	
フルート	伊藤 雄太		
オーボエ	中根 幹太		
クラリネット	柳生 和大		
ファゴット	エリック・バケラ		
ホルン	大河原 渉		
トランペット	松井 久子		

楽団長	中根 幹太	森田 大翔	江原 望
チーフステージマネージャー	阿部 紋子		智樹
ステージスタッフ	長橋 健太		美紀
チーフインスペクター	佐藤駿一郎		雅之
インスペクター	宇田 紀夫		恵子
ライブラリアン	鬼頭さやか		真鍋

ソプラノ	中根 幹太	鈴木 一志	田吉佑久子
メゾソプラノ	伊藤 舜	宇田 紀夫	信末 碩才
テノール	原川翔太郎	丸山 勉	村中 美菜
バス	オッタビアーノ・クリストフオリ	大西 敏幸	中里 州宏
バリトン	犬飼 伸紀	星野 究	笠間 勇登
コントラバス	中務 朋子	笠間 勇登	
フルート	伊藤 雄太		
オーボエ	中根 幹太		
クラリネット	柳生 和大		
ファゴット	エリック・バケラ		
ホルン	大河原 渉		
トランペット	松井 久子		

理 事 長(代表理事)	平井 俊邦	俊 邦
副理事長(代表理事)	五味 康昌	滋 浩章
専務理事(代表理事)	福井 英次	福本 ともみ
常務理事(代表理事)	後藤 朋俊	後藤 幹太
常務理事(代表理事)	中根 幹太	中根 幹太

理 事	石井啓一郎	遠藤 滋
	佐々木経世	田村 浩章
	戸所 邦弘	福本 ともみ
監 事	上條 貞夫	福澤 宏哉
評 議 員 会 会 長	加藤 丈夫	佐々木 浩
評 議 員	青井 浩	安孫子 正
	荒崎康一郎	石塚 邦雄
	石村 等	稲垣 尚
	内川 清雄	大塚 宣夫
	海堀 周造	梶浦 卓一
	河北 博文	喜多 崇介
	小林研一郎	久保田 隆
	津田 義久	西澤 豊
	野間 省伸	葉田 順治
	村上典史	山口多賀幸

名 誉 顧 問	熊谷 直彦	熊谷 直彦
名 誉 顧 問	島田 晴雄	島田 晴雄
名 誉 顧 問	田邊 稔	田邊 稔
アドバイザリー・ボード	大島 剛	小野 敏夫
	小網 忠明	後藤 茂
	隆男	田邊 稔
	溝口 文雄	

コミュニケーション・ディレクター	マイケル・スペンサー	マイケル・スペンサー
マネージメント・スタッフ	浅見 浩司	磯部 一史
	江原 陽子	及川ひろか
	小川紗智子	荻島 里帆
	賀澤 美和	柏熊由紀子
	小須田 萌	佐々木文雄
	澤田 智夫	篠崎めぐみ
	清水佑香子	杉山 綾子
	杉山まどか	高橋 勇人
	田中 正彦	樋谷 祐子
	中村沙緒里	西田 大輔
	長谷川珠子	藤田 千明
	別府 一樹	益満 行裕
	宗澤 晶子	山岸 淳子
	吉岡 浩子	
	康允	伊波 睦
	永島 義郎	南部 洋一

ソプラノ	中根 幹太	鈴木 一志	田吉佑久子
メゾソプラノ	伊藤 舜	宇田 紀夫	信末 碩才
テノール	原川翔太郎	丸山 勉	村中 美菜
バス	オッタビアーノ・クリストフオリ	大西 敏幸	中里 州宏
バリトン	犬飼 伸紀	星野 究	笠間 勇登
コントラバス	中務 朋子	笠間 勇登	
フルート	伊藤 雄太		
オーボエ	中根 幹太		
クラリネット	柳生 和大		
ファゴット	エリック・バケラ		
ホルン	大河原 渉		
トランペット	松井 久子		

ソプラノ	中根 幹太	鈴木 一志	田吉佑久子
メゾソプラノ	伊藤 舜	宇田 紀夫	信末 碩才
テノール	原川翔太郎	丸山 勉	村中 美菜
バス	オッタビアーノ・クリストフオリ	大西 敏幸	中里 州宏
バリトン	犬飼 伸紀	星野 究	笠間 勇登
コントラバス	中務 朋子	笠間 勇登	
フルート	伊藤 雄太		
オーボエ	中根 幹太		
クラリネット	柳生 和大		
ファゴット	エリック・バケラ		
ホルン	大河原 渉		
トランペット	松井 久子		

ソプラノ	中根 幹太	鈴木 一志	田吉佑久子
メゾソプラノ	伊藤 舜	宇田 紀夫	信末 碩才
テノール	原川翔太郎	丸山 勉	村中 美菜
バス	オッタビアーノ・クリストフオリ	大西 敏幸	中里 州宏
バリトン	犬飼 伸紀	星野 究	笠間 勇登
コントラバス	中務 朋子	笠間 勇登	
フルート	伊藤 雄太		
オーボエ	中根 幹太		
クラリネット	柳生 和大		
ファゴット	エリック・バケラ		
ホルン	大河原 渉		
トランペット	松井 久子		

ソプラノ	中根 幹太	鈴木 一志	田吉佑久子
メゾソプラノ	伊藤 舜	宇田 紀夫	信末 碩才
テノール	原川翔太郎	丸山 勉	村中 美菜
バス	オッタビアーノ・クリストフオリ	大西 敏幸	中里 州宏
バリトン	犬飼 伸紀	星野 究	笠間 勇登
コントラバス	中務 朋子	笠間 勇登	
フルート	伊藤 雄太		
オーボエ	中根 幹太		
クラリネット	柳生 和大		
ファゴット	エリック・バケラ		
ホルン	大河原 渉		
トランペット	松井 久子		

ソプラノ	中根 幹太	鈴木 一志	田吉佑久子
メゾソプラノ	伊藤 舜	宇田 紀夫	信末 碩才
テノール	原川翔太郎	丸山 勉	村中 美菜
バス	オッタビアーノ・クリストフオリ	大西 敏幸	中里 州宏
バリトン	犬飼 伸紀	星野 究	笠間 勇登
コントラバス	中務 朋子	笠間 勇登	
フルート	伊藤 雄太		
オーボエ	中根 幹太		
クラリネット	柳生 和大		
ファゴット	エリック・バケラ		
ホルン	大河原 渉		
トランペット	松井 久子		

チケットお申込・お問い合わせ

〔日本フィル・サービスセンター〕

TEL.03-5378-5911(平日10時～17時)

eチケット▶ <https://eticket.japanphil.or.jp>

公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団

〒166-0011 東京都杉並区梅里1-6-1 TEL.03-5378-6311

<https://japanphil.or.jp>

公式 X(旧Twitter)
@Japanphil



公式アカウント



「Welcome クラシック」

毎週水曜日 22:54～23:00 放送中!!